第40期（オンライン開催）
情報システム監査専門内部監査士認定講習会

一般社団法人日本内部監査協会では、わが国における内部監査の普及・啓発に向けた幅広い活動をしております。内部監査及び関連する諸分野についての理論及び研究、並びに内部監査の品質及び内部監査人の専門的能力の向上を推進するとともに内部監査に関する知識を広く一般に普及することにより、わが国の産業、経済の健全な発展に資することを目的に活動しております。「情報システム監査専門内部監査士認定講習会」では、当協会の様々な研修会を通して身につけた内部監査の理論と実務に加え、専門分野としての情報システム監査に関する理論と実務について専門的かつ体系的に学んでいただくことを目的にしています。2008年4月以降適用となった内部統制報告制度ではＩＴへの対応が求められ、各企業でも情報システム監査の重要性が今まで以上に高まっています。当協会で実施しております「内部監査実施状況調査（調査対象期間2022年4月から2023年3月）」においても情報システム監査の実施率が約50%でした。調査結果では各社の監査テーマ・着眼点として「IT投資、個人情報保護、情報漏洩防止、データ・バックアップ、ＢＣＰ（事業継続計画）、ＩＴ全般統制（ＩＴＧＣ）、ＩＴ業務処理統制（ＩＴＡＣ）等」が挙げられています。一度にこれらすべての知識を習得することは難しいものの、これらを意識しつつ、実際に情報システム監査を実施する内部監査人がおかれている実情に応じ、必要な知識を習得していくことが重要です。
今回の「第39期情報システム監査専門内部監査士認定講習会」では上記、監査テーマ・着眼点を参考にしたカリキュラムとなっています。皆様の今後の内部監査実務においてお役立ていただければ幸いです。詳細な内容につきましては次ページ以降をご覧ください。

配信期間

11月14日（金）10:00 ～ 12月23日（火）16:00まで

※上記講習期間中であれば、土日祝日および時間帯を問わずご視聴いただけます。
※配信期間が終了しますと未視聴であっても本講習会を終了します。必ず配信期間内にすべてのご視聴を終えてください。（12/16のグループ演習は除く）

講義時間

48時間＋2026年4月頃開催予定のフォローアップ研修2時間

申込締切日

2025年11月4日（火）17:00まで

この日時以降のキャンセルは承れません。恐縮ながら参加費を全額お支払いいただきます。

開催形式 視聴方法

①オンデマンド配信（視聴コードによる視聴者限定配信）

※事前に収録した講義をオンデマンドで配信いたします。
※視聴に必要な「視聴コード」をお申込みされたご本人にのみ、ご登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。（お申込み方法記載のページにテスト動画についての記載がありますのでご参照ください）

②Zoomミーティングによるグループ演習形式（12月16日）

※12/16（火）はZoomミーティングを使いグループ演習をライブで行いますので、ご予定ください。Zoomへのアクセス情報は12/11（木）頃に登録メールアドレス宛てにお送りいたします。お申込み前にご利用の機材でZoomによるオンライン配信の講義が視聴可能であることをご確認ください。接続環境安定のため、Wi-Fi等の無線ではなくなるべく有線で接続してご受講ください。
ご参考：Zoom導入および視聴方法について⇒https://www.iiajapan.com/leg/training/zoom/

定員・研修費

100名(事前の予約は承りません。期日までにお申込みください。)

正会員／個人会員	￥165,000-(1名につき消費税込/分納可)
非会員	￥236,500-(1名につき消費税込/分納可)

※災害等の影響により、研修会の開催が中止あるいは日時などに変更がある場合は、当協会ホームページ等でお知らせいたします。

主催：一般社団法人日本内部監査協会
The Institute of Internal Auditors Japan

【受講資格】

次のいずれかに該当すること。
1） 内部監査業務にたずさわっている方 。
2） 1）に該当しない場合には、大学等において、会計学・商学・経営学・経済学・法学・情報学等のいずれかを学んだ方、およびこれと同等の資格・能力の方。

【合格認定審査】

所定の課程を修め、修了論文を提出した方については、論文審査を行い、さらに講習受講状況を考慮のうえ合格者を決定します。合格者には認定証書とともに“情報システム監査専門内部監査士”の称号を授与します。

【論文提出方法】

講習期間中に受講者宛文書で通知し、講習終了後約1ヶ月以内に論文提出。
（論文の文字数／8,000～10,000字、論文テーマ／指定テーマより1テーマを選択、論文内容／情報システムに関連する内部監査の理論もしくは実務に関するもの）

【審査結果発表方法】

1. 合格者には審査結果発表後、認定証書を授与（送付）いたます。
2. 不合格者には事前に本人宛ご連絡をいたします。
3. 優秀論文は、当協会機関誌『月刊 監査研究』に掲載いたします。

※認定証はご指定いただいた事前配付資料一式と同じ送付先にお送りいたします。

【合格者の特典】

当協会機関誌『月刊監査研究』をご自宅宛に1年間贈呈します。

【申込方法】

受講申込はメールでのみの受付とさせていただきます。
３ページ目にございます「お申込み方法」に詳細を記載しておりますのでご確認ください。
内容をご確認いただきましたら、別途用意しております「受講申込書」フォーム（Excel）」に必要事項を漏れなくご記入のうえ、【申込受付専用アドレス】moushikomi@iiajapan.com までメールに申込書を添付してお送りください。

【研修費について】

受講費のお支払いが一括の場合、請求書をご確認のうえ、研修日前日までに指定口座にお振込みください。
開催１週間前（11月7日）に事前配付資料一式を発送いたします。
11月4日（火）17:00以降のキャンセルは承れません。**恐縮ながら受講費を全額お支払いいただきます。**
キャンセルの場合は11月4日（火）17:00より前にメール（moushikomi@iiajapan.com）にてご連絡ください。

【お問合せ・連絡先】

〒104-0031　東京都中央区京橋3-3-11　VORT京橋8階
一般社団法人日本内部監査協会
TEL：03-6214-2231／FAX：03-6214-2234／メールアドレス：**moushikomi@iiajapan.com**

※ 受講者には followup-it@iiajapan.comのメールアドレスから情報システム監査専門内部監査士認定講習会に関わる連絡事項を一斉配信いたします。
迷惑メールの設定をされている方はこのアドレスからのメールを受信できるように設定をお願いいたします。

※ 本講習会をオンラインでご視聴いただけますのは、今期のお申込みをいただきました方のみが対象でございます。お申込みいただいていない方がおります公の場での視聴をお控えいただくとともに、録音・録画、スクリーンショット、SNSへの講義情報のアップ ロードを禁止します。

※ 本申込書の記載事項をご了承いただいた方のみお申込みください（お申込みいただいた時点で、ご了承いただいたものといたします）。

【個人情報の取扱について】
本講習会に参加申込みされる際にいただく個人情報は、研修会の運営を促進するために使用することを目的とします。また、法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供いたしません。

○ お申込み方法 ○

＜お申込み前のテスト動画ご確認のお願い＞ 下記のことを必ず事前にご確認ください。

①オンデマンド配信について
下記 URL に接続いただき、ご利用の環境（PC、タブレット、スマートフォン等）で当協会動画配信サイト上での動画視聴が正常にできることをご確認ください。
https://iiajapan.bz/campaigns/_test_code_test

（テスト視聴用動画の「視聴コード」は 「MM2RNDQD2375WT4L」 とご入力ください。

②Zoom について
ご利用の機材で Zoom によるオンライン配信の講義が視聴可能であることをご確認ください。
接続環境安定のため、Wi-Fi 等の無線ではなくなるべく有線で接続してご受講ください。
※ご参考：Zoom 導入および視聴方法について ⇒ https://www.iiajapan.com/leg/training/zoom/

【※】利用環境の不具合による返金は一切対応できませんので、ご了承ください。

※ お申込みはメールでのみの受付とさせていただきます

【申込受付専用アドレス】 moushikomi@iiajapan.com

※ 以下の記載事項をご了承いただいた方のみお申込みください。お申込みいただいた時点で、ご了承いただいたものといたします。

【申込期間】２０２５年１１月４日（火） １７：００まで

※【 11 月 4 日（火）17：00】以降のキャンセルは承れません。恐縮ながら参加費を全額お支払いいただきます。

① 次ページにございます「受講申込書」に記載の内容をご確認いただき、別途用意しております「受講申込書」フォーム（Excel）に必要事項を漏れなくご記入のうえ、上記アドレスまで申込書を添付してお送りください。

＜ご記入の際の留意事項＞
登録いただくメールアドレスは、必ず受講者本人のメールアドレスをご記入ください（複数でお申込みの場合は人数分個別のもの）。受講される本人のメールアドレス宛てに講習会に関するご案内やオンデマンド視聴や Zoom ミーティング参加に必要な情報を記したご案内をお送りいたします。
お送りいただくメールの「件名」には「第 40 期情報システム監査専門内部監査士認定講習会」とご記入ください。

② 申込メールが到着いたしましたら順次、参加証・請求書をお送りいたします。

③ 請求書をご確認のうえ、開催の前日までに指定口座にお振込みください。

④ 開催の 1 週間前【11 月 7 日（金）】にご指定の送付先へ事前配付資料一式を発送します。また、11 月 11 日（火）にご登録のメールアドレス宛てに「followup-it@iiajapan.com」というアドレスから視聴用 URL、視聴コード、Zoom アクセス情報などを記したご案内メールを送信します。

⑤ 事前にお送りした視聴コードを使用して、講習期間中にご受講ください。

※12/16（火）は Zoom ミーティングによるグループ演習をライブで行います。
12/11（木）頃にアクセス情報をお送りいたします。

※災害等の影響により、研修会の開催が中止あるいは日時などに変更がある場合は、当協会ホームページ等でお知らせいたします。

第40期情報システム監査専門内部監査士認定講習会・受講申込書フォーム

【申込書フォームは下記URLよりダウンロードいただけます】

https://www.iiajapan.com/leg/pdf/ml/d40it_form.xlsx

＜会社名＞　　＜電話番号＞

＜所在地＞〒

部課・役職名	氏　名	生年月日（西暦）	監査経験年数	ITに係わる業務経験年数	受講資格(☑)
	（ふりがな）	年 月　日	年	年	☐ 1) ☐ 2)
自宅住所（認定後の機関誌送付先）		メールアドレス			
〒					
受講資料送付先（必ずいずれかに☑を入れてください）： **☐勤務先　☐自宅（自宅送付の場合は日中連絡の取れる電話番号を記載 ⇒　）**					

部課・役職名	氏　名	生年月日（西暦）	監査経験年数	ITに係わる業務経験年数	受講資格(☑)
	（ふりがな）	年 月　日	年	年	☐ 1) ☐ 2)
自宅住所（認定後の機関誌送付先）		メールアドレス			
〒					
受講資料送付先（必ずいずれかに☑を入れてください）： **☐勤務先　☐自宅（自宅送付の場合は日中連絡の取れる電話番号を記載 ⇒　）**					

部課・役職名	氏　名	生年月日（西暦）	監査経験年数	ITに係わる業務経験年数	受講資格(☑)
	（ふりがな）	年 月　日	年	年	☐ 1) ☐ 2)
自宅住所（認定後の機関誌送付先）		メールアドレス			
〒					
受講資料送付先（必ずいずれかに☑を入れてください）： **☐勤務先　☐自宅（自宅送付の場合は日中連絡の取れる電話番号を記載 ⇒　）**					

部課・役職名	氏　名	生年月日（西暦）	監査経験年数	ITに係わる業務経験年数	受講資格(☑)
	（ふりがな）	年 月　日	年	年	☐ 1) ☐ 2)
自宅住所（認定後の機関誌送付先）		メールアドレス			
〒					
受講資料送付先（必ずいずれかに☑を入れてください）： **☐勤務先　☐自宅（自宅送付の場合は日中連絡の取れる電話番号を記載 ⇒　）**					

受講費：1名につき（税込み）（☑）	☐ 正会員　¥165,000	☐ 個人会員　¥165,000	☐ 非会員　¥236,500

＜請求書の宛名＞　個人会員としてお申込みの場合のみ（☑）	☐ 会社名	☐ 個人名

＜参加証・請求書の送付先＞　必ず☑を入れてください

☐自宅

☐勤務先

部課・役職名：　　氏名：

※ 社長・部門長等宛に審査結果の報告が必要な場合は別途お申し付けください。

【第40期情報システム監査専門内部監査士認定講習会／スケジュール】

講義番号	時間	講義科目	講師
	15分	**◇オリエンテーション**	日本内部監査協会　事務局
1	6時間	**◇情報システム監査のフレームワーク** １・情報システム監査の意義と内部監査における位置づけ ２・情報システム監査の歴史 ３・情報システム監査の実施状況 ４・情報システム監査人に求められる知識・スキル ５・情報システム監査の手法・技法 （データ活用とアジャイル型監査を含む） ６・情報システム監査に係る基準等 ７・情報システム監査の品質評価 ８・DX、生成AIの進展と情報システム監査	東洋大学 工業技術研究所　客員研究員 CIA(公認内部監査人) CISA(公認情報システム監査人) システム監査技術者 博士（工学） **島田　裕次**　講師
2	6時間	**◇情報システム監査の実施手順** １・リスク視点からの情報システム監査 ２・情報システム監査の進め方と着眼点 ２．１ 情報システム監査の計画 ・システムリスクの識別と分析/評価 ・コントロールと証拠資料の特定 ２．２ 情報システム監査の実施 ・コントロールの実効性評価と監査証拠の入手 ・コントロールの実効性を低下させる要因 ２．３ 情報システム監査結果の報告 ２．４ フォローアップとモニタリング ３・トピックス	株式会社大和総研 内部監査部　主事 中央大学大学院理工学研究科　客員教授 CISA（公認情報システム監査人） システム監査技術者 **五井　孝**　講師
3	3時間	**◇内部統制報告制度におけるＩＴ統制の評価と監査** １．内部統制とIT統制 IT環境の理解 ２．IT統制の評価 IT全社的統制，IT業務処理統制，IT全般統制 評価の流れと対象範囲の決定，評価の留意点 ３．IT統制監査の実施 リスク，統制目標，整備･運用の有効性評価 検証手続と監査証跡、外部委託先の評価	デロイト トーマツリスク アドバイザリー合同会社 中京リスクアドバイザリー マネージングディレクター 公認会計士 CIA（公認内部監査人） システム監査技術者 **鈴木　徹也**　講師
4	3時間	**◇実例に学ぶIT統制評価の実務** １・システム監査とIT統制評価の類似点、相違点 ２・当社でのIT統制評価の特徴 ３・IT統制評価にガイドラインを活用することのメリットは？ ４・ガイドラインを使用したIT統制評価方法 ５・IT統制評価記述書（RCM）の構成 ６・ロールフォワードへの対応方法 ７・効率的で高品質な評価を行うための工夫 ８・IT統制評価上のポイント	フコクしんらい生命保険株式会社 監査部　参事役 CIA（公認内部監査人） システム監査技術者 **長島　基**　講師

講義番号	時間	講義科目	講師
5	3時間	**◇情報セキュリティの管理と監査** １・情報セキュリティガバナンスの必要性 ２・情報セキュリティとは ３・情報セキュリティ管理態勢 ４・サイバー攻撃への対応 ５・情報セキュリティ監査のチェックポイント	青木あすなろ建設株式会社 管理本部　総務部　担当部長 システムアナリスト、システム監査技術者 テクニカルエンジニア（情報セキュリティ） 一級建築士 **茅野　耕治** 講師
6	3時間	**◇情報システムに係るBCMの管理と監査** １・事業継続管理（BCM）の概要 （１）事業継続に関わるリスク～近年の自然災害等の動向 ①地震・洪水などの自然災害　②感染症 ③サイバー攻撃　④地政学リスク （２）事業継続管理体制の整備 （３）事業継続管理体制の運用 （４）事業継続管理体制の検証 ２・事業継続管理と情報システム （１）事業継続と情報システムの関係 （２）事業継続を支えるICT ①クラウド ②システムアーキテクチャ（オンプレ・クラウド） ③バックアップの考え方 ④システム障害とサイバー攻撃の違い ３・情報システムに係るBCMの監査 （１）基準 （２）テーマ・スコープの決め方 （３）プロセス （４）BCM監査のチェックポイント	デロイト トーマツ サイバー合同会社 経営企画室 マネージングディレクター CIA（公認内部監査人） CISA（公認情報システム監査人） 防災士 **堀越　繁明** 講師
7	3時間	**◇情報システム外部委託の管理と監査** １．情報システム外部委託の管理と監査の基本的な考え方 ２．事故事例からみた情報システム外部委託監査の着眼点 ３．情報システム外部委託監査の具体的チェックポイント ４．情報システム外部委託に係る認証・保証の利用方法 ５．クラウド・サービス利用上の内部統制の考え方 ６．クラウド・サービス利用の監査アプローチとチェックポイント	一般社団法人日本内部監査協会名誉会員 日本大学商学部　日本大学大学院 商学研究科　特任教授・博士（商学） **堀江　正之** 講師
8	3時間	**◇個人情報保護の管理と監査** １．個人情報保護・プライバシーとは ２．個人情報保護法について ３．欧米での取組みの歴史と動向 ４．日本における個人情報保護　～JIS Q 15001、Ｐマーク制度～ ５．個人情報保護監査の目的と方法 （１）監査計画　（２）監査実施～報告 （３）改善・フォローアップ ６．役に立つ個人情報保護監査のポイント	（公財）未来工学研究所　シニア研究員 早稲田大学非常勤講師 CSA（公認システム監査人） システム監査技術者 博士（工学） **力　　利則** 講師
9	3時間	**◇情報システムの戦略性・有効性・効率性の管理と監査** １・ＩＴ投資について ２・前提知識 ３・システムの管理手法例 ４・ＩＴ投資評価 ５・各社の事例 ６・監査	PwC Japan有限責任監査法人 リスク･アシュアランス部 上席執行役員 パートナー CISA(公認情報システム監査人) **綾部　泰二** 講師

講義番号	時間	講義科目	講師
１０	3時間	**◇業務監査と情報システム監査の連携** １．ロッテグループの紹介と監査部の位置付け ２．業務監査と情報システム監査の一体化 ３．社内リソースの活用 ４．自分達が使いこなせる監査プログラムの作成 ５．明日から使える実践情報システム監査ノウハウ	株式会社ロッテ 監査部　チーフスペシャリスト CIA（公認内部監査人） 情報システム監査専門内部監査士 **蛯原　良尚**　講師
１１	**◇情報システム監査取組事例**		
	1時間	**◇当社における情報システム監査に係る現状と今後のあり方** ～情報システムの戦略性・有効性・効率性の監査～ １．当社の現状と、当社が今後も生き残るためには ２．当社におけるこれまでの情報システム戦略 ３．昨今の当社DXへの取組みとIT環境の変化 ４．当社内部監査の歴史と現状の社内プロセス ５．今後の当社「情報システムの戦略性･有効性･効率性監査」の在り方 ６．情報システムの「戦略性」「有効性」「効率性」監査ポイントの活用事例	株式会社朝日新聞社 内部監査室　主査 情報システム監査専門内部監査士 **山本　忠俊**　講師
	1時間	**◇キヤノンマーケティングジャパンにおけるシステム監査の実施例** １．キヤノンマーケティングジャパンのご紹介 ２．当社の内部監査部門について ３．当社におけるシステム監査実施事例 ４．その他の取り組み ５．まとめ	キヤノンマーケティングジャパン株式会社 グループ総合監査室　監査企画課　課長 CIA（公認内部監査人） CFE（公認不正検査士）、システム監査技術者 DXビジネス検定（Professional Level） JDLA Deep Learning for GENERAL 2022 中小企業診断士 **武田　正憲**　講師
	1時間	**◇パナソニックグループにおけるシステム監査の取組** １．はじめに ２．パナソニックグループの監査体制 ３．取組のご紹介 ４．課題と今後の方向性	パナソニックオペレーショナルエクセレンス株式会社 情報システム部門　情報システム本部 経営管理部　システム監査課 CIA（公認内部監査人） CISA（公認情報システム監査人） **友本　まどか**　講師
１２	3時間	**◇情報システム監査の方向性** **～最新動向を踏まえた新しい課題と今後の方向性～** １．内部監査としての情報システム監査のあり方 ２．効果的な情報システム監査のアプローチ ３．情報システム監査の方向性 ４．ITガバナンス監査のポイント ５．最新の技術動向を踏まえた監査対応のあり方 ６．リモートワークに係る監査対応のあり方	一般社団法人日本内部監査協会名誉会員 日本大学商学部　日本大学大学院 商学研究科　特任教授・博士（商学） **堀江　正之**　講師

ここまでの講義科目はオンデマンド配信となります。
配信期間中に全講義をご視聴ください。

講義番号	時間	講義科目	講師
12月16日（火）	9:30 ↓ 16:30	＜グループ演習形式＞ ◇　ケースによる監査の模擬経験 ーリスクの把握、監査のポイントの設定と コントロールの評価、改善提案などー	東洋大学 工業技術研究所　客員研究員 **島田　裕次**　講師 及び 株式会社大和総研 内部監査部　主事 **五井　孝**　講師

12月16日（火）のグループ演習形式はZoomミーティングの「ブレイクアウトルーム機能」を使い、ライブで実施いたします。参加者の皆様を４～8名のグループに分け、グループ演習を行っていただきます。
使用端末はＰＣ推奨です。
グループディスカッションを行いますので、視聴用端末はマイク機能は必須となります。
コミュニケーションの観点から、カメラ機能が備わっている端末が望ましいですが、カメラ機能が無くてもディスカッション参加には問題ございません。

※テキストはＰＤＦファイルを配信いたします。印刷物でのお渡しはいたしませんので予めご了承ください。
※研修内容・講師が、やむを得ず変更になる場合は、あしからずご容赦ください。
※適宜休憩を挟みながら講義を行います。
※講演の録画・録音はご遠慮ください。
※講演の視聴は土日祝日も可能ですが、土日祝日、及び休業期間中（年末年始、GW等）にお寄せいただいたお問合せについては、営業再開後順次対応させていただきます。お問合せの内容によってはお時間をいただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。

「オンデマンド配信ご受講に際して」

オンデマンド視聴方法
PC、スマートフォン、タブレット等の WEB ブラウザ上でご覧いただくことが可能です。
当協会動画配信サイト URL：https://iiajapan.bz

視聴方法
オンデマンド配信開始の 3 営業日前【 11 月 11 日（火)】にご登録のメールアドレス宛に「followup-it@iiajapan.com」から、本研修会視聴用 URL および「視聴コード」をお送りします。
本研修会視聴用 URL へアクセスいただき、「視聴コード」を入力してご視聴ください。
※「視聴コード」はお申込みされた方のみご利用いただけます。他の方との共有はできません。
※「followup-it@iiajapan.com」からのメールを必ず受信できるように事前の設定をお願いいたします。

事前の視聴方法および動作確認のお願い

お申込み前に下記 URL に接続いただき、ご利用の環境（PC、タブレット、スマートフォン等）で当協会動画配信サイト上での動画視聴が正常にできることをご確認ください。

視聴環境確認用テスト動画 URL：https://iiajapan.bz/campaigns/_test_code_test

※ テスト視聴用動画の「視聴コード」は「MM2RNDQD2375WT4L」とご入力ください。

※ 接続環境安定のため、なるべく無線ではなく有線をご利用ください。

ヘルプ
オンデマンド配信に関するお問合せは当協会動画配信サイト内の「お問合せフォーム」よりお願いいたします。
土日祝日、及び休業期間中（年末年始、GW 等）にお寄せいただいたお問合せについては、営業再開後順次対応させていただきます。お問合せの内容によってはお時間をいただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。

講演資料（PDF）のダウンロード
当協会動画配信サイト内の各動画配信ページよりダウンロード可能です。

「(12/16) Zoom ミーティングによるグループ演習につきまして」

アクセス情報は 12/11（木）頃に登録メールアドレス宛てにお送りいたします。
お申込み前にご利用の機材で Zoom にアクセス可能かご確認ください。
グループディスカッションを行ないますので、視聴用端末はマイク機能が必須となります。
接続環境安定のため、Wi-Fi 等の無線ではなくなるべく有線で接続してご受講ください。
※ご参考：Zoom 導入および視聴方法について　⇒　https://www.iiajapan.com/leg/training/zoom/